

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年10月前半）

### 1. 経済

- 2014年9月の消費者信頼感指数は▲9（前月は▲7）。（1日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルク統計局、モスクワ及びサンクトペテルブルクの国立高等経済学院との間で、研究協力に係る協定に8月25日に署名。（2日付け統計局プレスリリース）
- SES社、同社の衛星を用い、同社が提供するブロードバンドサービスの利用契約をスイスコム社との間で締結した旨2日に発表。（3日付ル・コティディアン紙）
- 2014年上半期の経常収支は、1047百万ユーロの黒字（前年同期は1253百万ユーロの黒字）。（6日付中央銀行プレスリリース）
- ルクセンブルクにおけるアマゾン社への税務に関する国家補助規制違反の可能性につき、欧州委員会が調査を開始した旨が7日に発表。（7日付財務省コミュニケ）
- 2014年9月のインフレ率は0.3%（前月は0.6%）。（8日付統計局プレスリリース）
- 欧州移民ネットワークのルクセンブルク支局による報告書によると、2013年、ルクセンブルク国籍の取得者数は4,411名（前年は4,680名）。（8日付ヴォルト紙電子版）
- カーゴルクス社、14日より中国の鄭州へ週4便目となるフライトを就航。（14日付ヴォルト紙電子版）
- 2014年第2四半期の成長率予測は前年同期比+3.2%、前期比+0.7%。（14日付統計局プレスリリース）

### 2. 政府

- ルクセンブルク政府、ユーロ圏初となる、計200百万ユーロのソブリンスクーク（イスラム債）を9月29日に発行。（1日付財務省コミュニケ）
- ギヨーム皇太子同妃両殿下、5日から10日にかけて経済ミッションのために韓国及び日本を訪問（シュナイダー副首相兼経済相及びバウシュ公共事業相同行）。日本ではギヨーム皇太子同妃両殿下は天皇皇后両陛下との昼食会や安倍総理との会談等を行い、また経済関連セミナーが開催された。（6日付政府広報及び10日付当地各紙報道）
- グラメーニャ財務相、ファンド協会主催の金融セミナー出席のために6日から8日にかけてボストン及びニューヨークを訪問。また、10日から11日に

かけてワシントンで開催されるIMF・世銀年次総会に出席。（6日付財務省コミュニケ）

●ベテル首相、ハンブルクで10日から11日にかけて開催された中国・欧州関係に関するハンブルクサミットに出席し、李克強中国首相と会談。（9日付政府広報）

●グラメーニャ財務相、ルクセンブルクにて開催のユーログループ（13日）及びEU財務相会合（14日）に出席。（14日付財務省コミュニケ）

●ベテル首相、予算方針演説を14日に国民議会にて実施。また15日には、グラメーニャ財務相が2015年度予算案を提出。（14日付政府広報）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。